

松本市地域づくり推進交付金実績報告書

令和8年3月31日

(あて先)松本市長

(申請者) 中山地区地域づくり協議会

1 交付決定額

I	金 550,000円
---	------------

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

① 事業名: 高齢者元気づくり事業				
実 施 主 体		中山地区地域づくり協議会 地域活性化部会		
実 施 日 (期 間)		令和7年4月1日～令和8年3月31日		
実 施 場 所		地区内遊休荒廃地他		
事 業 概 要		高齢者の元気づくり、生きがいづくりを目的に、中山の資源である農地を利用し、高齢者が気軽に栽培できる農作物を模索する事業。 事業実施にあたっては、以下の2点に留意する。 (1) 体力的にあまり負担がかからないこと (2) 需要及び販路が確保されており、多少なりとも利益が出ること。 花豆、エゴマの栽培を実施し、また地域に多く自生する竹の有効活用についても検討していく。		
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果		事業の目的とした、事業に参加した住民には、元気づくり、相互見守り、相互交流を図る事が出来た。 花豆、エゴマは非常に人気の食品であるため、地区行事等で販売すると即完売となった。 遊休荒廃地の活用により、環境維持の一端となった。		
課 題		参加する住民が高齢者中心である為、一部の作業に省力機械設備等を準備したが、資金の余裕が無い。 若い住民に参加の声掛けを継続し、毎年若干名の参加はあるが、なかなか大勢の若者に参加して貰えない。この点については、地域活性化のための広報に一層の工夫が必要であると思慮される。		
決 算 額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	370,673円	171,000円	0円	199,673円

a: 本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b: 前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c: この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名：公民館カフェ				
実 施 主 体	中山地区地域づくり協議会 地域活性化部会			
実 施 日（期 間）	令和7年4月1日～令和8年3月31日			
実 施 場 所	中山公民館講座室、中山地区福祉ひろば			
事 業 概 要	公民館講座室にてカフェを実施し、住民が気軽に立ち寄れるコミュニケーションの場を提供する。火・金曜日の週2回、午後1時30分から4時まで実施し、18名のボランティアスタッフがコーヒーを提供する。後述のふるさとなかやまだよりなどを活用し広く住民へ周知・PRを行う。			
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	ふるさとなかやまだより等での呼びかけで週2回の公民館カフェには毎回多くの方にご参加いただき、交流の場となった。 公民館で活動している、各サークルの方の参加も多くあり、サークルを超えた交流の場となった。			
課 題	参加者の多くが固定化されているため、公民館だより等を活用し、新たな参加者を募っていく。 文化祭等で出店することで、新たな参加者を募っていく。			
決 算 額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	410,210円	117,000円	0円	293,210円

③ 事業名：公民館カフェボーイ				
実 施 主 体	中山地区地域づくり協議会 地域活性化部会			
実 施 日（期 間）	令和7年4月1日～令和8年3月31日			
実 施 場 所	中山公民館、中山地区福祉ひろば他			
事 業 概 要	公民館活動への男性参加者増、サラリーマン生活をリタイヤした男性の居場所づくりを目的に、公民館料理実習室にてこだわりの焙煎コーヒーの勉強会を実施し、住民が気軽に立ち寄れるコミュニケーションの場を提供する。毎月第3水曜日を定期開催日としており、この他各町会にて実施されるふれあい健康教室にも参加し、コーヒーを振る舞うなど活動の幅を広げてきている。			
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	ふるさとだより等での呼びかけで毎月第3水曜日の実施では、20数名ずつの参加があり、地区内外でも活動が浸透してきている。また、男性の料理教室、男性の体操教室も開催でき、地区住民の居場所づくり、元気づくりの一助となってきたため、活動を継続していきたい。 今年度は公民館事業でも開催することで、普段は参加のない方の参加もあった。			
課 題	参加者が固定化しないよう、広く呼び掛けていく必要がある。 広報にも力をいれより多くの参加者を呼び込んでいく。			
決 算 額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	118,961円	30,000円	0円	88,961円

④ 事業名： ボランティア活動支援事業				
実 施 主 体	中山地区地域づくり協議会 福祉対策部会			
実 施 日（期 間）	令和7年4月1日～令和8年3月31日			
実 施 場 所	地区内一円			
事 業 概 要	昨年度に引き続き、各町会のボランティア組織に対し、活動支援を実施する。支援依頼は様々なため、依頼に応じて臨機応変に対応できるよう、情報収集を行った。			
地 域 づ く り の 成 果 ・ 効 果	継続したボランティア活動を支える保障となり、安心・安定した取り組みの支援に繋がっている。			
課 題	中山地区全6町会でボランティア組織が設立されてはいるが、地区住民の全般的な「困りごとの解決」に対応できるまでの組織とはなっていない。 有償ボランティアの「助け合おうぜ中山」も活動を始めて3年目になるが、認知がされていない。雪かき支援などは、地区の協力が不可欠である。高齢化が進んでいることを理解し地区生活支援員を中心に地区内の助け合いの仕組みを充実させていきたい。			
決 算 額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	20,000円	20,000円	0円	0円

⑤ 事業名： 防災・環境保全事業				
実 施 主 体	中山地区地域づくり協議会 防災・環境保全対策部会			
実 施 日（期 間）	令和7年4月1日～令和8年3月31日			
実 施 場 所	地区内一円			
事 業 概 要	1 防災事業 実際の災害を想定した安否確認訓練を開催し、住民の意識高揚と啓発を図った。 2 環境事業 主要県道沿い除草作業などを実施し、景観の美化に努めた。			
地 域 づ く り の 成 果 ・ 効 果	1 防災事業 安否確認訓練を実施し、災害時の自身の行動や各町会での取りまとめ方法を整理し、自身の役割を理解することができ、防災意識の向上に繋がった。部会での知識・経験を活かし、地元町会での防災活動に繋げることができた。 2 環境事業(二重堀・慰霊碑除草作業) 町会から延べ30名程度の住民の参加があった。 中山地区を通る交通量の多い県道沿いを整備することで、景観向上、地域住民の環境美化意識の向上に繋がった。地域住民が協力し合いながら作業することで、地域住民の絆づくりにも寄与できた。			
課 題	1 防災事業 安否確認訓練の継続的な実施 防災備品を整理し、避難所設備等の充実を図る。 学習会や研修会を開催し、防災への見識を深める。 2 環境保全事業 今後も継続した定期的な草刈り等の管理を実施			

	より多くの住民が地区の環境美化に興味・関心を持ち、積極的に作業に参加してもらえるような仕組みづくりが必要。			
決 算 額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	156,000円	156,000円	0円	0円

⑥ 事業名：地域づくり活動発信事業				
実 施 主 体	中山地区地域づくり協議会			
実 施 日（期 間）	令和7年4月1日～令和8年3月31日			
実 施 場 所	中山地区（地域住民に全戸配布）			
事 業 概 要	平成29年7月創刊の全戸配布の広報紙「ふるさとなかやまだより」（地域づくり協議会ニュース及び公民館・福祉ひろばニュース）の一層の紙面充実に努め、ホームページと共に広く情報発信を行う。			
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	A3両面フルカラーで見やすさや紙面の充実を図ってきたこともあり、「毎月拝見している」、「目に付くところに貼って予定を確認して公民館事業、ひろば事業に参加している」などの声が直接届くような場面が増えてきた。公民館事業、福祉ひろば事業他地域づくり活動の情報紙として徐々に住民へ浸透してきたと感じる。			
課 題	情報発信チームを設置し、地域づくり協議会の各部会から情報提供を呼び掛けているが、なかなか集まらないため、チームの在り方をこれから検討していく。			
決 算 額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	68,680円	56,000円	0円	12,680円

決算額(計) (①+②+③)	A+B+C	財源内訳		
		A	B	C
	1,144,524円	550,000円	0円	594,524円

A:各事業のaの合計額

B:各事業のbの合計額

C:各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

該当なし

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I-A-D	金 0円
-------	------

[参考]繰越上限額=I×2/10